

平成23年度名護市当初予算

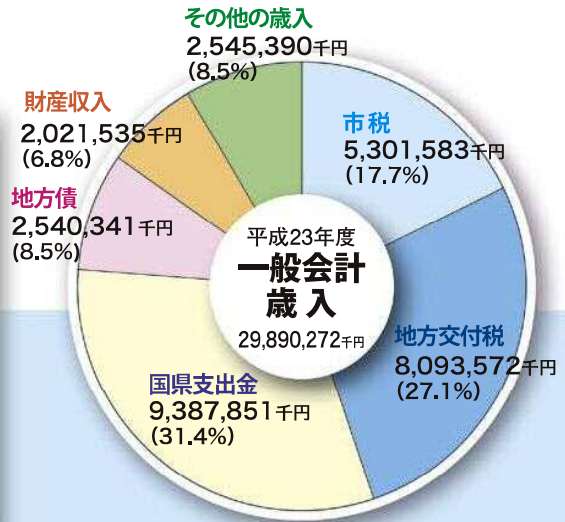
～ 一般会計総額 **29,890,272千円** (対前年度比**15.1%増**) ～

平成23年度の当初予算が、去る3月25日に名護市議会において可決されましたのでその概要をお知らせいたします。平成23年度の予算の状況について、一般会計当初予算規模は、**前年度当初比3,913,110千円増(15.1%増)の29,890,272千円**となりました。

一般会計

《歳入予算(単位:千円)》

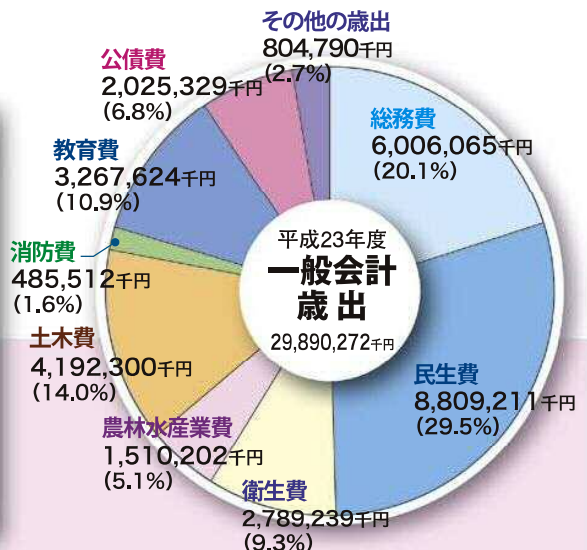
	平成23年度当初	H23構成比(%)	平成22年度当初	比較(H23-H22)	増減率(%)
市 税	5,301,583	17.7	5,229,569	72,014	1.4
地 方 交 付 税	8,093,572	27.1	5,607,053	2,486,519	44.3
国 県 支 出 金	9,387,851	31.4	8,844,660	543,191	6.1
地 方 債	2,540,341	8.5	1,930,985	609,356	31.6
地 方 譲 与 税	168,984	0.6	173,113	-4,129	-2.4
各種交付金等	939,204	3.1	951,538	-12,334	-1.3
分担金・負担金	407,316	1.3	363,125	44,191	12.2
使用料・手数料	622,559	2.1	603,197	19,362	3.2
財 産 収 入	2,021,535	6.8	2,003,465	18,070	0.9
繰 入 金	173,187	0.6	30,087	143,100	475.6
そ の 他	234,140	0.8	240,370	-6,230	-2.6
計	29,890,272	100.0	25,977,162	3,913,110	15.1



歳入については、法人市民税、固定資産税等の増収などにより市税が増となっており、使用料・手数料については、まちなか市営住宅等の住宅使用料や、市営市場使用料などが増となっています。また、各種交付金等については、地方特例交付金が子ども手当分の減額により減となっています。地方交付税については、「平成23年度地方財政対策」を基本に試算し、名桜大学の公立化に伴う基準財政需要額の増額などにより増となっています。国庫支出金については、北部活性化事業などにより増となりました。繰入金については、公共施設整備基金や水源地域振興基金等からの繰入金が前年度より大幅な増となっています。

《歳出予算(単位:千円)》—費目別(部門別)

	平成23年度当初	H23構成比(%)	平成22年度当初	比較(H23-H22)	増減率(%)
議 会 費	375,880	1.3	280,963	94,917	33.8
総 務 費	6,006,065	20.1	4,005,473	2,000,592	49.9
民 生 費	8,809,211	29.5	8,235,876	573,335	7.0
衛 生 費	2,789,239	9.3	2,574,707	214,532	8.3
農林水産業費	1,510,202	5.1	1,156,329	353,873	30.6
商 工 費	164,602	0.6	181,684	-17,082	-9.4
土 木 費	4,192,300	14.0	3,767,793	424,507	11.3
消 防 費	485,512	1.6	458,787	26,725	5.8
教 育 費	3,267,624	10.9	3,103,557	164,067	5.3
公 債 費	2,025,329	6.8	2,030,089	-4,760	-0.2
そ の 他	264,308	0.8	181,904	82,404	45.3
計	29,890,272	100.0	25,977,162	3,913,110	15.1

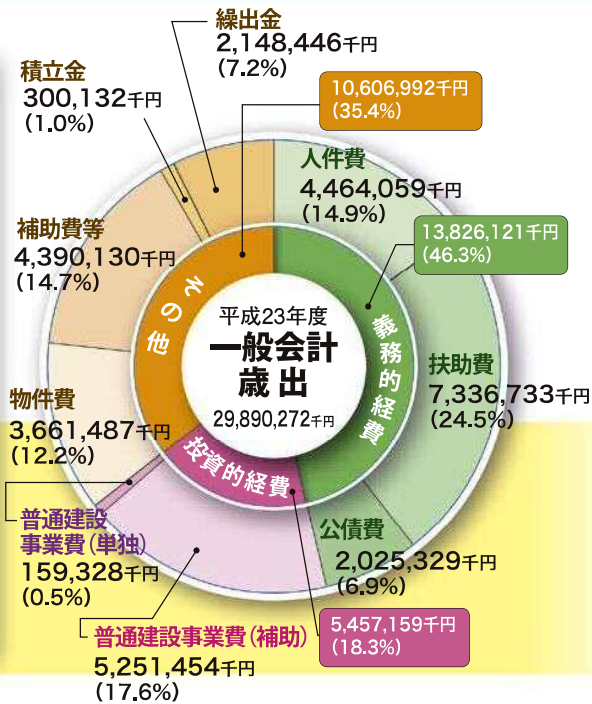


歳出については、まず費目別(部門別)に見てみると、総務費で、名桜大学の公立化に伴う北部広域市町村圏事務組合にかかる負担金の増額により大幅増となっております。民生費においては、子ども手当、私立保育所運営費、生活保護費等が増額となっています。衛生費においては子宮頸がん等ワクチン接種事業、予防接種費が増額となっています。農林水産業費においては、数久田地区用水対策事業、屋我地漁港海岸保全整備事業等が増額となっています。土木費においては、北部活性化事業の豊原1号線道路改築事業、二見市営住宅建設事業、大北大西線街路整備事業等の建設関連事業が増額となっております。教育費では、小中一貫校推進ハード事業、久辺小学校屋内運動場新增改築事業等が増額となっています。

平成23年度名護市当初予算

《歳出予算(単位:千円)》一性質別

		平成23年度当初 (千円)	H23構成比 (%)	平成22年度当初 (千円)	比較 (H23-H22)	増減率 (%)
義務的経費	人 件 費	4,464,059	14.9	4,731,328	-267,269	-5.6
	扶 助 費	7,336,733	24.5	6,560,405	776,328	11.8
	公 債 費	2,025,329	6.9	2,030,089	-4,760	-0.2
投資的経費	普通建設事業（補助）	5,251,454	17.6	4,893,953	357,501	7.3
	普通建設事業（単独）	159,328	0.5	78,718	80,610	102.4
	災害復旧事業	46,377	0.2	46,897	-520	-1.1
その他	物 件 費	3,661,487	12.2	3,131,163	530,324	16.9
	維持補修費	65,867	0.2	74,785	-8,918	-11.9
	補 助 費 等	4,390,130	14.7	2,228,845	2,161,285	97.0
	積 立 金	300,132	1.0	117,335	182,797	155.8
	投資及び出資金	430	0.0	430	0	0.0
	貸 付 金	10,500	0.0	10,500	0	0.0
	繰 出 金	2,148,446	7.2	2,042,714	105,732	5.2
	前年度繰上充用金	0	0.0	0	0	-
	失業対策事業	0	0.0	0	0	-
	予 備 費	30,000	0.1	30,000	0	0.0
計		29,890,272	100.0	25,977,162	3,913,110	15.1



次に性質別に見てみます。

義務的経費 (使途が義務付けられ任意に削減できない経費) 中、扶助費については、児童扶養手当の父子家庭への支給拡大及び子ども手当、生活保護受給世帯、私立保育所運営費等が増になっています。

人件費の減については、職員数の減によるものです。

投資的経費 (道路や公園・学校など社会資本の整備や災害復旧等に係る経費で、将来に残るものに支出される経費) については、北部活性化事業等により普通建設事業(補助)が増となりました。

投資的経費中の主な事業として、以下のような事業が挙げられます。

☆学校関連事業

屋部小学校校舎改築事業、統合久志小学校校舎新築事業、久辺小学校屋内運動場新增改築事業など

☆農林水産関連事業

数久田地区用水対策事業、我部祖河むらづくり交付金事業、屋我地漁港海岸保全整備事業、森林環境保全整備事業など

☆道路・交通関連事業

大北大西線街路整備事業、為又1号線道路改築事業、市道汀間1号線道路橋梁整備事業、市道嵩原中線道路整備事業、豊原1号線道路改築事業、名護52号線道路改良事業など

☆公営住宅関連事業

うんさの森市営住宅第1・第2団地建替事業、二見市営住宅建設事業

その他の経費 中では、補助費等で、名桜大学の公立化に伴う北部広域市町村圏事務組合にかかる負担金、認可外保育所助成費等により増となっています。物件費については、需用費、旅費などは削減したものの特区施設設備更改料、沖縄県緊急雇用創出事業、子宮頸がん等ワクチン接種委託料などが大きく伸びています。

以上が平成23年度一般会計当初予算の概要であります。

今後も引き続き、積極的な歳入の確保、徹底した歳出の見直しを図り、職員一丸となって、市民の視点に立った行財政運営を目指してまいります。

特別会計

	平成23年度当初 (千円)	平成22年度当初 (千円)	比較(H23-H22)	増減率(%)
国民健康保険特別会計	7,771,749	7,971,875	-200,126	-2.5
介護保険特別会計	3,845,034	3,580,984	264,050	7.4
公共下水道事業特別会計	1,309,364	1,270,774	38,590	3.0
後期高齢者医療特別会計	391,158	382,626	8,532	2.2
老人保健特別会計	0	5,119	-5,119	-100.0
第三地区土地区画整理事業特別会計	240,547	352,991	-112,444	-31.9
計	13,557,852	13,564,369	-6,517	0.0

水道事業会計

	《歳入》			《歳出》		
	平成23年度当初 (千円)	平成22年度当初 (千円)	増減率(%)	平成23年度当初 (千円)	平成22年度当初 (千円)	増減率(%)
収益的収支	1,580,937	1,552,579	1.8	1,491,212	1,506,694	-1.0
資本的収支	248,494	203,494	22.1	617,045	589,697	4.6